

公益財団法人 あいち男女共同参画財団

男女共同参画のキホン

ー仕事と〇〇の両立編ー

2000年代中頃に「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）」という言葉が登場してから時代は進み、今や皆いくつもの「何か」と両立して働いていかなければならない社会になりつつあります。

伸びる寿命、上がる結婚年齢

高齢化や人生の多様化によって、平均寿命や結婚・出産時の年齢は上がっています。その後のライフイベントにも影響が出ています。

平均寿命

	1980年	2024年
男性	73.35歳	81.09歳
女性	78.76歳	87.13歳

初婚年齢（平均）

	1980年	2024年
男性	27.8歳	31.1歳
女性	25.2歳	29.8歳

第一子出生時年齢（平均）

	1980年	2024年
男性	29.2歳	33.0歳
女性	26.4歳	31.0歳

出典：厚生労働省「人口動態統計月報年計（概数）の概況」（R6）
厚生労働省「簡易生命表の概況」（R6）
※2023年の数値

「両立」はもはや珍しくない

働きながら幼い子どもを育てたり、介護をしている人の割合は年々増加し、育児は全体の85.2%、介護は58.0%を占めています。

未就学児の育児をしている人、
家族の介護をしている人の推移
（男女、就業状況別）（万人）

年	育児		介護	
	女性無業者	女性有業者	女性無業者	女性有業者
2012年	283	311	197	131
2022年	138	389	187	157

育児：85.2%
介護：58.0%

出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」（R6）

家族のお世話役はまだまだ女性

育児や介護をしている人を性別・年代別にみると、あらゆる年代で女性の方が多くなっています。

未就学児の育児をしている人、
家族の介護をしている人の数
（男女、年齢階級別 2022年 一部抜粋）（万人）

年齢階級	育児		介護	
	男性	女性	男性	女性
15～24歳	98	143		
25～29歳	123	138		
30～34歳			31	60
35～39歳			40	71
40～44歳			36	64
45～49歳				
50～54歳				
55～59歳				
60～64歳				
65～69歳				
70～74歳				
75歳以上				

出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」（R6）

育児と介護が同時にやってくる

未就学児の育児と家族の介護を同時にする「ダブルケア」をしている人は20.1万人います。その内、16万人は仕事もして、一人でトリプルの役割を担っています。

出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」（R6）

健康との両立も必要に

健康課題を抱える人の数は男女で差があり、あらゆる年代で女性の方が多いです。特に50代では差が大きく開いています。

健康上の問題で仕事、家事等への影響がある者の数及び割合
（男女、年齢階級別 2022年 一部抜粋）（万人）

年齢階級	男性	女性
30～39歳	18	27
40～49歳	29	38
50～59歳	36	55
60～69歳	47	58

出典：内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」（R6）

自分のケアができない現状

正規雇用の男女の半数以上は、体の具合が悪いところがあっても休んだり、病院に行くなどの対処ができていません。

そのうち、小学生以下の子どもと同居している女性は、**仕事や家事・育児・介護で忙しくて病院等に行く時間がない**ことを最も多く理由にあげています。



出勤

出典：内閣府男女共同参画局『男女共同参画白書』（R6）
公益財団法人 あいち男女平等推進財団

両立で何も諦めなくていい社会へ

家庭も仕事も健康も犠牲にすることのない社会を実現するために、「**柔軟な働き方**」や「**支援制度を使いやすい環境づくり**」など、皆で考えることが大切です。



健康 育児・介護 仕事 柔軟な働き方 支援制度

参考：内閣府男女共同参画局『男女共同参画白書』（R6）
公益財団法人 あいち男女平等推進財団